

## 日本赤十字社神奈川県支部現勢

令和3年4月1日現在(役員は令和3年7月9日現在)

日本赤十字社の使命		わたしたちは、 苦しんでいる人を救いたいという思いを結集し、 いかなる状況下でも、 人間のいのちと健康、尊厳を守ります。		日本赤十字社スローガン 人間を救うのは、人間だ。	
1949年のジュネーブ四条約締結国		196カ国		赤十字の基本原則 人道・公平・中立・独立・奉仕・単一・世界性	
世界の赤十字社・赤新月社等		192社			
区分	内容	日本赤十字社(全国)	神奈川県支部		
1 沿革		1877年(明治10年)5月 1日 博愛社設立 1887年(明治20年)5月20日 日本赤十字社に改称 1952年(昭和27年)8月14日 日本赤十字社法制定	1887年(明治20年)12月20日 日本赤十字社神奈川県支部設立 (当時は神奈川県委員部)		
2 名誉総裁・ 名誉副総裁		名誉総裁 皇后陛下 名誉副総裁 秋篠宮皇嗣妃殿下 常陸宮殿下・同妃殿下 三笠宮妃殿下 寛仁親王妃信子殿下 高円宮妃殿下			
3 会員 (令和3年3月31日現在)		個人 18.2 万人 法人 8.3 万法人	個人 8,800 人 法人 3,113 法人		
4 評議員		2,007 人	72 人		
5 代議員		223 人	6 人		
6 役員 (令和3年7月9日現在)		社長 大塚 義治 副社長 富田 博樹 十倉 雅和  理事 61 人 監事 3 人	支部長 黒岩 祐治 (神奈川県知事) 副支部長 首藤 健治 (神奈川県副知事) 上野 孝 (県商工会議所連合会会頭) 監査委員 伊藤 仁 (元神奈川県出納長) 石井 邦夫 (元神奈川県新聞厚生文化事業団専務理事・事務局長) 古谷 幸治 (元神奈川県公営企業管理者・企業庁長) 参与 橋本 和也 (神奈川県福祉子どもみらい局長) 田中 博章 (横浜市健康福祉局長) 宮脇 護 (川崎市健康福祉局長) 河崎 利之 (相模原市健康福祉局長)		
7 国際活動		(1) 国際救援・開発要員派遣 5 カ国 のべ 6 人 (令和2年度) (2) 国際赤十字・赤新月社連盟出向 2 人 (スイス、マレーシア) (3) 国際活動費(令和2年度) 19 億円	(1) 国際救援・開発要員等派遣(令和2年度) 0 カ国 0 人 (2) 安否調査(令和2年度) 1 カ国 1 件 (3) 国際交流(令和2年度) 派遣: 0 カ国 0 人 受入: 0 カ国 0 人 (4) 国際救援金受付(令和2年度) 138 件 2,341,943 円 (5) 国際救援・開発協力支出額(令和2年度) 4,000,000 円 (東ティモール、ラオス)		
8 災害救護		(1) 常備救護班 486 班 4,505 人 (2) 無線局 (令和3年3月31日現在) 3,240 局 (3) 救護車両 1,942 台 (4) 赤十字飛行隊(特殊奉仕団) 108 機 (5) 災害等救護活動(令和2年度) 871 人 (6) 取扱義援金額(令和3年3月31日現在) 64億5,741万8,440 円 (7) 配分救援物資(毛布・緊急セット等)(令和2年度) 2万5,284 個	(1) 常備救護班 15 班 102 人 (2) 無線局 137 局 (3) 救護車両 69 台 (4) 防災ボランティア(令和3年3月31日現在) 416 人 (5) 火災・風水害等被災者見舞金交付世帯(令和2年度) 336 世帯 (6) 取扱義援金額(令和3年3月31日現在) 4,629万7,767 円 (7) 配布援護物資(毛布・タオル・石鹸等の日用品)(令和2年度) 199 個		
9 救急法等講習 ※指導員登録者数は 令和3年3月31日現在、 ※受講者数は令和2年度実績		(1) 救急法基礎講習 指導員 10,927 人 受講者 7,992 人 (2) 救急法 指導員 6,903 人 受講者 106,907 人 (3) 水上安全法 指導員 1,503 人 受講者 7,357 人 (4) 雪上安全法 指導員 209 人 受講者 94 人 (5) 幼児安全法 指導員 2,312 人 受講者 23,451 人 (6) 健康生活支援講習 指導員 1,746 人 受講者 14,913 人 計 指導員 23,600 人 受講者 160,714 人	(1) 救急法基礎講習 受講者 0 人 (2) 救急法 指導員 501 人 受講者 1,718 人 (3) 水上安全法 指導員 140 人 受講者 70 人 (4) 雪上安全法 指導員 21 人 受講者 0 人 (5) 幼児安全法 指導員 141 人 受講者 359 人 (6) 健康生活支援講習 指導員 85 人 受講者 461 人 計 指導員 888 人 受講者 2,608 人		
10 看護師等の教育		(1) 看護師 18 校 1,235 人 (2) 助産師 6 校 88 人 (3) 保健師 6 校 149 人 (4) 幹部看護師 1 校 120 人 (5) 介護福祉士 1 校 30 人	(1) 日本赤十字看護大学 24 人		

※一学年養成定員

区分 内容	日本赤十字社(全国)	神奈川県支部
11 医療事業  (※1)平成17年4月1日から 横浜市立みなと赤十字病院が 開院－横浜市が設置し、横浜 市の指定管理者として、日本赤 十字社が運営  (※2)平成22年4月1日から 相模原市の指定管理者として 、相模原市立診療所(青野 原・千木良・藤野)を日本赤十字 社が運営。(平成22年3月31日 までは、3診療所は神奈川県 立)	(1) 施設 病院 91 診療所 5 介護老人保健施設 6 (2) 病床総数(令和3年3月31日現在) 35,219 床 (3) 入院患者(令和2年度) 843 万人(1日平均 2.3 万人) (4) 外来患者(令和2年度) 1,460 万人(1日平均 6.0 万人)	(1) 横浜市立みなと赤十字病院(※1) ( 634 床、実働 634 床 ) (令和2年度) 入院患者 169,953 人(1日平均 466 人 ) 外来患者 250,606 人(1日平均 1,031 人 ) 病床利用率 73.4 % (2) 秦野赤十字病院 ( 320 床、実働 262 床 ) (令和2年度) 入院患者 61,550 人(1日平均 169 人 ) 外来患者 101,043 人(1日平均 416 人 ) 病床利用率 64.4 % (3) 相模原赤十字病院 ( 132 床、実働 132 床 ) (令和2年度) 入院患者 35,444 人(1日平均 97 人 ) 外来患者 85,948 人(1日平均 321 人 ) 病床利用率 73.6 % 診療所(青野原・千木良・藤野)(※2) (令和2年度) 外来患者 12,291 人(1日平均 17 人 )
12 血液事業	(1) 血液センター 47 附属施設 170 (2) ブロック血液センター 7 分置施設 5 (3) 車両(令和3年3月31日現在) 移動採血車 287 台 献血運搬車 780 台 (4) 献血者数(令和2年度) 成分献血 167 万人 400mL献血 325 万人 200mL献血 12 万人 計 504 万人 (5) 供給本数(令和2年度) 輸血用製剤 1,713 万本	(1) 血液センター(神奈川県) 1 附属施設(湘南事業所) 1 (2) 出張所(献血ルーム) 8 (横浜駅東口、横浜駅西口、横浜駅西口第二、二俣川、川崎駅東口、溝の口、藤沢、本厚木) (3) 車両(令和3年3月31日現在) 移動採血車 12 台 献血運搬車 39 台 (4) 採血本数(令和2年度) 成分献血 117,195 本 400mL献血 200,988 本 200mL献血 8,956 本 計 327,139 本 (5) 供給本数(令和2年度) 赤血球製剤 202,658 本 血漿製剤 60,295 本 血小板製剤 49,998 本 計 312,951 本
13 赤十字ボランティア (令和3年3月31日現在)	(1) 地域赤十字奉仕団 2,120 団 1,118,897 人 (2) 青年赤十字奉仕団 152 団 5,483 人 (3) 特殊赤十字奉仕団 633 団 30,943 人 (4) 個人ボランティア 13,388 人 計 2,905 団 1,168,711 人	(1) 地域赤十字奉仕団 51 団 20,869 人 (2) 青年赤十字奉仕団 5 団 268 人 (3) 特殊赤十字奉仕団 38 団 1,918 人 計 94 団 23,055 人
14 青少年赤十字 (令和3年3月31日現在)	(1) 幼稚園・保育所 1,809 校 155,671 人 (2) 小学校 7,063 校 1,966,662 人 (3) 中学校 3,575 校 985,654 人 (4) 高等学校 1,856 校 327,373 人 (5) 特別支援学校 199 校 21,119 人 計 14,502 校 3,456,479 人 指導者 242,989 人	(1) 幼稚園・保育園 13 園 1,358 人 (2) 小学校 40 校 15,809 人 (3) 中学校 65 校 20,078 人 (4) 高等学校 58 校 10,800 人 (5) 一貫教育校 2 校(※) 1,276 人 (6) 特別支援学校 10 校 1,653 人 (7) 地域 1 地域 65 人 計 191 校 51,039 人 ※一貫教育校は中学校・高等学校の2校種でカウント
15 社会福祉事業	(1) 乳児院 8 (定員 291 人) (2) 保育所 3 (定員 368 人) (3) 児童養護施設 1 (定員 40 人) (4) 医療型障害児入所施設 3 (定員 286 人) (5) 特別養護老人ホーム(併設ケアハウス20人を含む) 8 (定員 773 人) (6) 障害者支援施設 1 (定員 50 人) (7) 視聴覚障害者情報提供施設 2 (8) 補装具製作施設 1 (9) 複合型施設 1 特別養護老人ホーム (定員 110 人) 介護老人保健施設 (定員 100 人) 高齢者グループホーム (定員 18 人) 障害者支援施設 (定員 10 人)	(1) 神奈川県ライトセンター(視覚障害者支援施設) (神奈川県の指定管理者制度に基づき日本赤十字社が運営) ① 情報提供事業 ② 指導訓練事業 ③ スポーツ振興事業 ④ ボランティア育成事業 ⑤ 普及啓発事業
16 施設・職員数	区分 施設数 職員数(人) 本社 1 546 人 支部 47 711 人 医療施設 117 59,240 人 血液事業施設 231 5,897 人 社会福祉施設 28 1,162 人 計 424 67,556 人 (正規職員のみ)	日本赤十字社神奈川県支部 31 人 横浜市立みなと赤十字病院 1,205 人 秦野赤十字病院 383 人 相模原赤十字病院 279 人 神奈川県赤十字血液センター 388 人 神奈川県ライトセンター 32 人 計 2,318 人 ※令和3年3月31日現在(非常勤職員は常勤換算で計上)
17 会計	(1) 一般会計 本社 108 億 4 千万円 支部 198 億 5 千万円 (2) 医療施設特別会計 1兆1,337 億 5 千万円 (3) 血液事業特別会計 1,617 億 9 千万円 (4) 社会福祉施設特別会計 156 億 5 千万円 (令和3年度当初予算)	(1) 一般会計(支出) 日本赤十字社神奈川県支部 8億3,918万0,730 円 (2) 医療施設特別会計(収益的支出) 横浜市立みなと赤十字病院 202億1,294万1,513 円 秦野赤十字病院 60億9,366万1,836 円 相模原赤十字病院 33億5,143万0,194 円 (小計) 296億5,803万3,543 円 (3) 社会福祉施設特別会計(支出) 神奈川県ライトセンター 3億1,108万9,255 円 (令和2年度決算)

(特に断りのない統計数字等は、令和3年4月1日現在・令和2年度実績)